

キャラクター名 プレイヤー名
 都柄まひる

シンドローム	エンジェルハイロウ		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	モルフェウス					
オプション			年齢	17	性別	女
覚醒	無知	衝動	自傷	初期侵食率	31	%
出自	待ち望まれた子	経験	平凡への憧れ	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1	0	0			1	行動値	19
感覚	5	1	3			9	(非装備時)	19
精神	1	0	0			1	戦闘移動	24
社会	1	0	0	1		2	全力移動	48

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
離射貫く光の弾丸 (ワイズガール)	射撃	8r+2	@2	15		貫通

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
矢神秀人	P 好奇心	N 憐憫			
母親	P 信仰	N 恐怖			
姉	P 憧憬	N 嫉妬			
御影 燈馬 (PC1)	P 同情	N 憐憫			
ファース・ヴァン・ヴォルフ (PC3)	P 尊敬	N 不安			
フィリ (PC4)	P 尊敬	N 脅威			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:	0		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ハンドレッドガンズ	3	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 攻撃=+LV+4								
コンセントレイト:エンジェルハイロー	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: クリティカル値を下げる								
小さな塵	4	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 組み合わせた攻撃の攻撃+LV*2								
ペネトレイト	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 装甲値無視 ダイス-1								
天使の外套	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 姿を上書きする								
真昼の星	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 望遠鏡のような視覚を得る								
スポットライト	★	-	メジャー	至近	視界	自動	-	
効果: ただし音楽は鳴らない								
ウサギの耳	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 耳が良くなる								
猟犬の鼻	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 鼻がよくなる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

遠見の狩人《レホスティラドル》
 その力を解放せしめん時、仄かに輝く紫水晶のマジックはどんなものも逃さない。
 遠隔射撃、また追跡トラッキングを得意とするオーヴァード

彼女はUGNの職員であり研究員である両親のもとに生まれ、そして育った。
 熱心な研究者である母親は研究対象として、(愛しい夫のDNAのため)オーヴァードの子を授かることを切に願っており、非オーヴァードであった長子である姉の次にまひるを授かったことを非常に喜び、大切に大切に、手塩にかけて育てた。
 まひるも、2つ上の姉より自分が両親以外のUGN職員にも鼻真にされているのを感じ、姉に憐憫にも近い感情をもって接していた。

しかしながら姉が捜査のため、学校に通うようになって、まひるの常識はひっくり返される。
 非オーヴァードである姉は、能力でも親の威光でもなく、純粋に自らの成果、人柄で評価され、楽しそうに学校に通うようになったのだ。
 丁度そのころ、元々早熟であったがために能力の限界を感じ始めていたまひるは、姉の語って聞かせる日常に打ちのめされる。

嗚呼どうして。あの頃は確かに私の方が高いところにいた。
 滑り落ちてしまった、ハンプティードンプティードン見せかけの自信は元には戻らない。
 私は何を根幹に生きていけばいいのだろう。
 オーヴァードである誇りはもう私を支えてはくれない。
 残ったのは、両親の期待だけ。

彼女は震えながら、日々を丁寧に積み上げた。
 崩れそうな自分を積み直すように。